

授業科目名	【G】 【EF】	教養演習Ⅰ・Ⅱ 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区分 選択必修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	スポーツ・生命・身体をめぐるルールと倫理			担当者	松宮 智生		
授業概要	【概要】	本演習では、現代のスポーツにおけるルールや倫理的課題に着目し、現実の事例における倫理学上の論点を学ぶ。必要に応じて、生命・身体に関する倫理的諸問題にも射程を広げる(例えば「ドーピング」はスポーツにおける問題だけではなく、医療技術を用いた人間の身体改造(遺伝子操作など)の問題とも関連するからである)。受講者には、スポーツ・生命・身体に関する報道・記事のチェックを求める。演習のメンバー(教員・学生)間での情報交換を積極的に行っていきたい。					
	【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のスポーツ及び身体・生命に関する倫理的課題を認識し、論点を整理することができる。 ・学習内容をもとにテーマを設定して、自らの見解を発表することができる。 					
履修条件	特になし。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	○	(やや当てはまる)				
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎	(よく当てはまる)				
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	—	(当てはまらない)				
他科目との関連性	「現代社会とスポーツ」「スポーツ社会学」で扱うテーマが一部含まれる。						
教科書参考書	【教科書】	特になし。					
	【参考書】	特になし。					
評価方法	発表(50%)、毎回のワークシート(50%)、演習における貢献(+α)をもとに総合的に判断する。						
フィードバック方法	発表・コメント内容をもとにメンバー(学生・教員)間で議論を行う。発表・コメント等に対して教員が講評(対面および文書)する。						
評価基準	授業の内容について理解をし、発表に積極的に取り組んだ者には「S」または「A」、理解・発表に不十分な点がある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解・発表いずれも著しく不十分な者にはその程度に応じて「D」または「E」、評価不能は「F」とする。						
その他	特になし。 ※Gカリ:【Ⅰは選択必修(A)・Ⅱは選択必修(B)】 / EFカリ: 選択必修(γ)						

授業	【G】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
科目名	【EF】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	選 択 必 修		【EF】2		【EF】2
授業内容	<p>1. スポーツ倫理についての学習 次のようなテーマについて学び、論点を整理する。 ・スポーツにおけるルール ・スポーツと暴力 ・スポーツとジェンダー ・ドーピング ・スポーツ科学とスポーツ倫理学 ・勝利至上主義 ・スポーツと差別 等</p> <p>2. 生命倫理についての学習 必要に応じて次のテーマについて学び、論点を整理する。 ・治療とエンハンスメント ・遺伝子操作 ・クローン技術 等</p> <p>3. スポーツ・生命・身体に関する報道等の分析、スポーツ実技における実践</p> <p>4. 発 表 学習内容に基づく分析と発表</p>					
予習内容	<p>本演習に関連するニュース・報道を調べること。 自分のテーマに関する資料を収集すること。 プレゼンテーションの準備をすること。 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。</p>					
復習内容	<p>他の受講生や教員の見解と自分の見解とを比較すること。 議論・発表の論点を整理すること。 プレゼンテーションの改善点をまとめること。 授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</p>					